

2020年8月

# 縁が和 だより

発行:縁が和

広島市安佐北区亀山南二丁目3番27号  
TEL:082-819-1750 fax:082-819-1751  
MAIL: syouta@engawa-cc.com

## やっと梅雨明け・・・

# オープンエアでコロナ対策模索中

やっと梅雨が明けました！

今年の梅雨は各地に大きな被害をもたらしました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

これからの時代を考えると、感染症と災害対策を考慮しないわけにはいきません。

縁が和でも、これまで地域の方と一緒に取り組んできたイベントやサークル活動、地域の交流の場所であったカフェをはじめとしたコミュニティスペースの活動も全て中止しております。

何より、介護施設の利用者さんの安全対策を優先する為ですが、そのことは同時に、利用者さんにとっても日常生活の大切な要素を奪われることにもなっています。

縁が和でも、コロナと災害の時代でも進められる生活作りを模索していきたいと考えています。

コロナ対策のキーワードは『オープンエア』。戸外・屋外等の意味ですが、3密を避けるために最も有効な対策の一つと言われています。

縁が和では、施設内への感染持ち込みを可能な限り遮断するための動線・エリアの区分などを徹底したうえで、敷地内への畑の造成、これまでも屋外で行っていた陶芸クラブの再開などをはじめとして、屋外での活動領域を広げる方法を模索中です。なお、畑と陶芸は共生型生活介護の活動メニューとしても検討中です。

正解は中々見つかりませんが、「模索」することを目指したいと思います。もちろん熱中症にも注意して・・・



畑造成中。作業は理事さんたちのボランティア



オープンカフェみたいに来ないかなあ



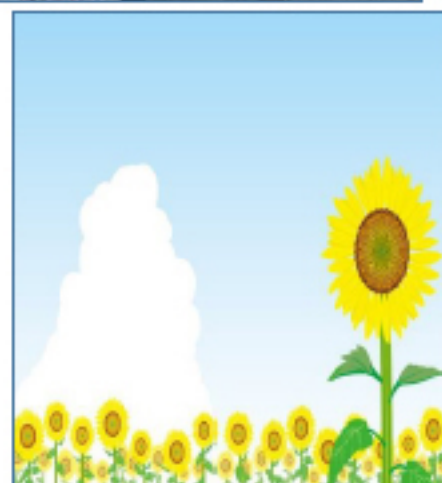
昨年7月の陶芸の様子。

### (参考)

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のウイルス学的特徴と感染様式の考察(白木公康)」より

### 3. ウイルスの感染能力の安定性

飛沫感染は2m離れると感染しないとされている。オープンエアでは、2mまで到達する前に、種々の大きさのaerosol(エアロゾル、微小な空気中で浮遊できる粒子)は乾燥する。60~100 $\mu$ mの大きな粒子でさえ、乾燥して飛沫核になり、インフルエンザウイルスを含む多くのウイルスは乾燥して感染性を失う<sup>3)</sup>。したがって、コロナウイルスはインフルエンザ同様、エアロゾルが乾燥する距離である2m離れたら感染しないと思われる。しかし、湿気のある密室では空中に浮遊するエアロゾル中のウイルスは乾燥を免れるため、驚くことに、秒単位から1分ではなく、数分から30分程度、感染性を保持する<sup>4)~6)</sup>。



## シールド越しの誕生会



毎回手作りケーキです。



## Y画伯の色えんぴつ画

あまりにお見事なので、お願いして年賀状などに使わせていただきました。カーブ選手もそっくり！

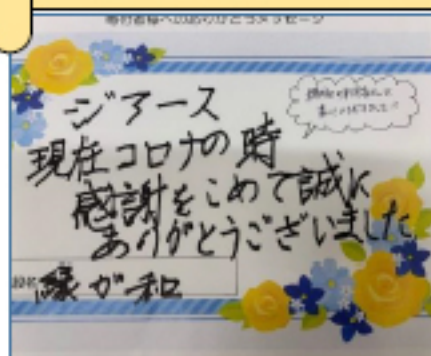


先月号でお知らせした「お持ち帰りプチプチマルシェ」は  
コロナ感染状況に鑑み、当面中止させていただきます。



電動ろくろのご寄付ありがとうございます。  
器輪工房ますます装備充実です。  
再開をお楽しみに。

消毒液のご寄付ありがとうございました。  
区社協経由で頂きました。終着駅マルシェでも  
お世話になっている亀山神楽団平岡団長より



認知症のばあちゃんに、子供のころ狐に化かされた話を聞いた。その語りはあまりにも真に迫っており、決して嘘を言っていないように聴こえない。ばあちゃんにとっては、真実なのだと思う。

人類がそのような感性で、自然を畏れながら距離を保っていた時代は何千年、何万年にも及ぶ。そしてそれを失い始めて、まだ100年にもならないのだ。

「孔雀の尾羽仮説」と言うものがあつたらしい。人間の知性が孔雀の尾羽に当たるとはなにかと言う説だ。孔雀は性淘汰に勝つため尾羽をあの様に見事に進化させたが、そのことが種としての生存を危うくしているのだと言う。

新型コロナウイルスなど新しい感染症も、人間と自然の距離が変わつた事により発生してきまると言う説、温暖化により、ますます新しい感染症の発生の可能性が高まると言う説、そして毎年の様に起こる大規模な災害。人間の知性はそうしたことを防ぐためにこそ使われてほしいが、その時にはあちゃんたちのような感性が必要なのではないか。